●島津義弘と姶良

島津家15代当主・貴久の二男として生まれ、三州統一および九州制覇の戦いでは常に最前線に身を置き、豊臣政権下では島津家を代表して朝鮮半島で奮戦し、天下分け目の関ヶ原合戦では敵中突破を敢行した戦国武将・島津義弘。

姶良市はその義弘とゆかりの深い地です。岩剱城の戦いで初陣を飾り、３つの居城（平松城・帖佐屋形・加治木屋形）を築き、本拠地としました。そして、人生の最期を加治木屋形で迎えています。

義弘は武人として優秀なだけでなく、茶の湯や医術にも通じていました。家臣・領民にもたいへん慕われて、数多くの逸話が残っており、伝統行事の太鼓踊りやくも合戦も義弘が創始したという由来を持っています。

当館では、“郷土の英雄”島津義弘ゆかりの文化財を展示しています。

一本杉の馬印（復元）
関ヶ原合戦で掲げられた義弘の馬印の復元品

宇都窯跡抹茶碗
朝鮮人陶工・金海が作った義弘好みの抹茶碗

一節切
義弘愛用と伝わる竹製の縦笛

帖佐八幡神社三十六歌仙額
御願成就の御礼として帖佐八幡神社に奉納

●交通案内

○Ｊ　Ｒ	日豊本線帖佐駅から徒歩 10 分
○バ　ス	帖佐駅前バス停から徒歩 5 分
○自動車	鹿児島市街地から 30 分
	鹿児島空港から 30 分
○九州自動車道	桜島スマート IC から 10 分
	姶良 IC から 15 分

●施設案内

○開館時間
9：00 ～ 17：00　（入館は 16：30 まで）

○休館日　月曜日（月曜日が祝日・振替休日の場合はその翌日）
毎月 25 日（日曜をのぞく）
年末年始（12 月 29 日～ 1 月 3 日）

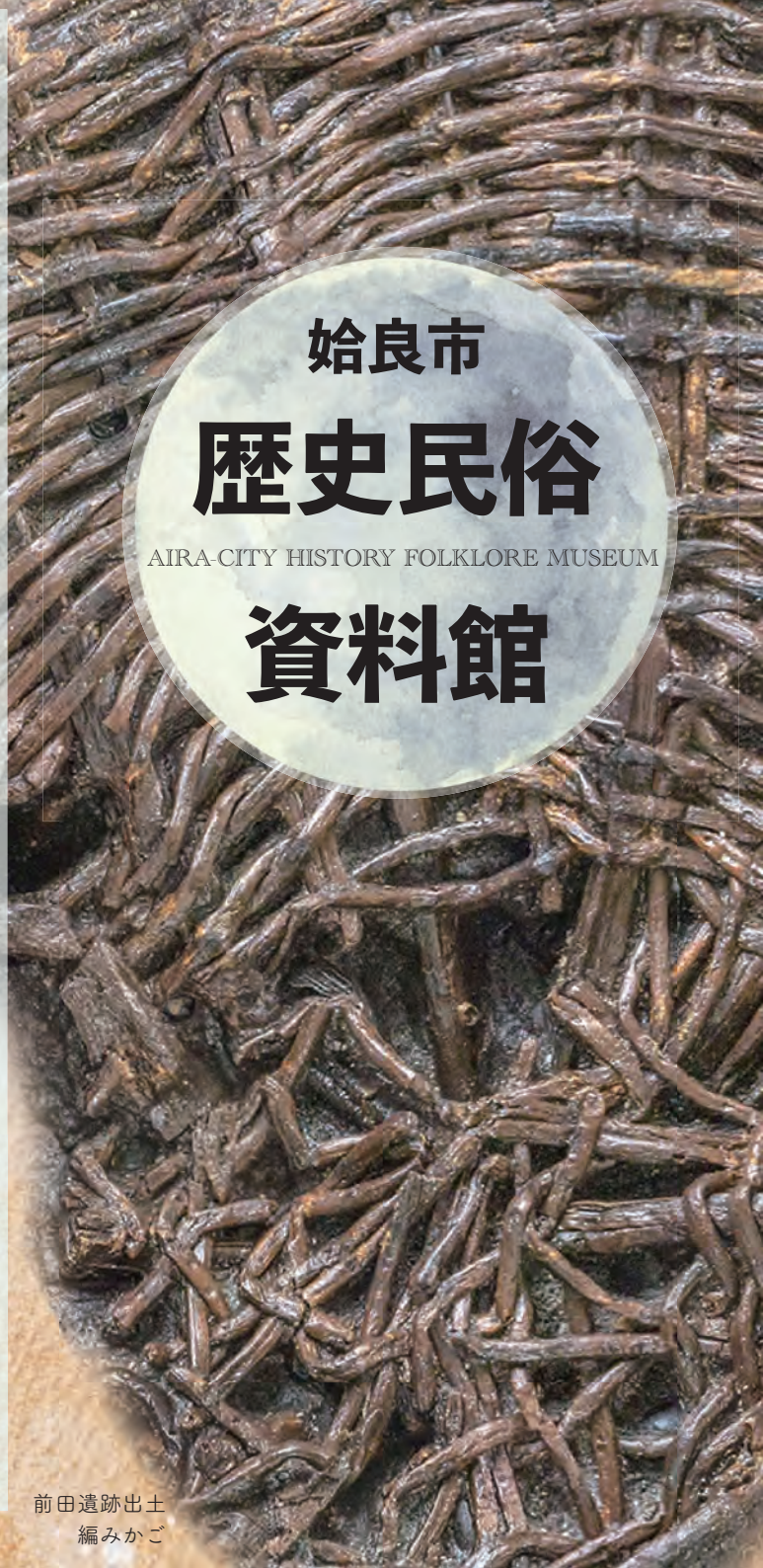
○入館料　無料

●施設概要

○開　　館 / 昭和 63 年（1988）1 月 30 日
○建物構造 / 鉄筋コンクリート造２階建
○延床面積 /884.14㎡（1F：31㎡，2F：347.9㎡）
○駐 車 場 / 乗用車 10 台・マイクロバス３台

姶良市歴史民俗資料館

〒 899-5421 鹿児島県姶良市東餅田 498 番地
TEL 0995-65-1553　Fax 0995-66-5820
aira-museum@sage.ocn.ne.jp
ホームページ



姶良市
歴史民俗
AIRA-CITY HISTORY FOLKLORE MUSEUM
資料館

前田遺跡出土
編みかご

帖佐人形〔武者〕

●帖佐人形

素朴で郷土色豊かな帖佐人形は、鹿児島を代表する土人形で、子どもの健やかな成長を祈念する節句人形として贈られていました。

嘉永６年（1853）の刻銘をもつ土型が残っていますので、遅くとも江戸時代後半には製作が始まっていたと考えられます。

人形のモデルは、神話や昔話に登場する人物や神様、動物などで、その徳にあやかりたいという願望がこめられています。

●古代駅路跡（城ヶ崎遺跡）

城ヶ崎遺跡で見つかった道路遺構

姶良市船津の城ヶ崎遺跡では、現市道に沿って側溝を持つ幅６～８ｍの道路遺構が見つかりました。奈良時代、都を中心に各国を結んで張りめぐらされた古代駅路と考えられます。

また、近くの柳ガ迫遺跡は、石帯やヘラ書き土器、中国産陶磁器など稀少な遺物が出土していて、『延喜式』に記載された「蒲生駅」の可能性を持つ役所跡です。

塩田の様子（昭和 26 年）

●帖佐松原塩田

松原地区の遠浅の海岸を埋め立てて造られた入浜式塩田です。明治５年（1872）から造成が始まり、大正３年（1914）の桜島大噴火の被災から復旧し、大正 12 年以降は帖佐村・町の大きな自主財源となりました。

しかし昭和 26 年（1951）10 月、ルース台風の直撃で塩田が大きく損壊し、歴史の幕を閉じました。

民俗

人々が暮らしの中で使用した民具を中心に、年中行事、民俗芸能、民間信仰の資料を展示しています。

移設復元された築 100 年を超える農家の「ナカエ」や、名産の「帖佐叺」を織る「カマスバタ」が昔の生活の様子を伝えてくれます。

カマスバタ（叺機）

先史・古代

建昌城跡（市内最古の集落）、前田遺跡（編みかごやドングリ貯蔵穴が見つかった低湿地遺跡）、宮田ヶ岡瓦窯跡（大隅国分寺瓦窯）、柳ガ迫遺跡（古代の役所）、城ヶ崎遺跡（古代の官道）、外園遺跡（古代の集落）などの出土遺物が文字に残らない歴史を語ります。

建昌城跡の縄文時代早期土器

中世

荘園を領有した大隅正八幡宮（現在の鹿児島神宮）、各地で勢力を誇った蒲生氏・加治木氏・平山氏などの豪族、新たな勢力として進出した島津氏（本家・豊州家）などの史料から、激動の時代をひも解きます。

蒲生城古図

近世

江戸時代の５か郷（加治木・帖佐・重富・山田・蒲生）に伝わる古文書・絵図などを紹介しています。

島津義弘が茶器を焼かせた「宇都窯」「御里窯」に始まる薩摩焼の技術・伝統は、江戸時代を通じて連綿と受け継がれ、現在の龍門司焼につながっています。

黒蛇蝎釉茶碗〔西餅田系〕

近代

明治維新や西南戦争に関連する古文書や西郷隆盛・勝海舟の書を展示しています。また、「納屋町船」の資料は、海と川を使った物流の歴史を伝えています。

納屋町船進水式（昭和 10 年）